

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日: 令和6年1月31日

公表: 令和 6年 2月 20日

事業所名 チャイルドウィッシュ刈谷松坂

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係が適切である	12	1	マックスで入ると狭く感じるため、活動の内容や学習のタイミングをずらしている	密度が高くないように階を分けて支援している
	2	職員の配置数は適切である	13	0		
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	12	1	2階3階の立地上難しい所もある	利用者の危険がないよう配慮して支援している。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	11	2	各職員ごとにばらつきがある	定期的に話し合って意識していく
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	13	0		
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	13	0		
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	11	1		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	13	0		
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	13	0		
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	11	2		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	12	0	・チーム全体で話し合い担当リーダーを決める事で円滑に進めている ・子どもの課題なども考慮して立案していけるともっと良いなと思う	引き続きチームで話し合い、立案していく
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	13	0	その日のリーダーがプログラムを考え支援に当たっている	引き続き、その時々の子どもの課題に即したプログラムを行っていく。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	11	2	課題の設定は少し弱い部分がある	質の高い支援が出来るよう改善していきます。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	12	0	子どもの様子、体調表情を見て、日々の支援を行ない、計画を作成している	引き続き状況に応じて計画を作成していく
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	13	0	・毎日打ち合わせを行い日々の確認、情報共有に努めている。 ・具体的な担当児童を決め、支援に当たっている。	引き続き職員間で毎日の打ち合わせを行い、支援の内容や役割分担を確認していく。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	10	2	・日々の振り返り、特記事項の情報共有を出動者及び書面で記録している ・口頭や日報とうでの情報共有を行なっている。	引き続き、その日の支援で起こった出来事を共有し、質の高い支援に繋げていく。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	13	0		
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	13	0		

	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	13	0		
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	12	0		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	12	1	基本的にはその日のうちに解決できるように努めている。	今後も情報共有を密にしてい
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	6	1	対象となる児童がいないので無し	対象児童がご利用される際には対応してい
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	12	0		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	7	1	今年度も対象児童無し	対象児童がご利用される際には対応してい
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	12	1	定期的に行っている	今後も質の向上に向けて行っていく
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	6	5	・地域の方との交流が増える等のイベントも行っていくと良い ・児童クラブ利用の児童はいるが積極的な交流はないので今後検討していく。	現状難しいが、今後検討していく
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	8	4	参加する事で市内、他事業所、相談機関、自治体との連携に繋がっている	今後も参加し連携に繋げていく。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	13	0	・ご利用日の送迎時に保護者様にお伝えし、共通理解を持っている ・お迎えの際は送迎時に話をし、共通理解を図っている。	引き続き情報共有をし、共通理解を図っていく
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	9	2	・ママ会の開催を行なっている。 ・ママ会開催の際に行なうようにしている。	参加者に対してペアレントトレーニング等を意識してもらえるようにしていく
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	13	0	各家庭ごとに利用者負担等説明を行ない、同意をいただいている。	引き続き丁寧に説明を行なっていく
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	13	0		
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	12	1	・保護者同士、職員等、保護者の関係性はもう少し向上させたい ・ママ会のほかに親子参加型のイベントなども開催し、保護者同士の関係作りにも支援している。	親子参加型イベントを今よりも増やして連携が図れるように支援していく
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	13	0	その日のうちに解決できるよう努めている。また、翌日の朝礼や日報などで情報共有をし、再発防止に努めている。	引き続き早期解決が出来るように対応していく。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	12	0		
	35	個人情報に十分注意している	13	0	・各書類を鍵付き書庫で管理、パソコンにもウイルス対策を行なっている ・形態は基本的に会社の物を使うことで外部に情報が漏れないようにしている。	引き続き十分な注意を払っていく
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	13	0		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	7	4		

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	13	0		
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	13	0	<ul style="list-style-type: none"> ・週日数利用者もいるため訓練は1週間行い、多くの参加が出来るように配慮している ・児童が避難する際に頭に何もかぶっていないのは危険かと感じる 	適切な非難が行えるように定期的に訓練を行っていく。命優先に行動できるよう訓練していく。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	13	0		
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	13	0	職員間で話し合いの上身体拘束必要児童を検討し進めている	職員同士で情報を共有し合いながら計画を作成していく
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	11	0		
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	13	0	ヒヤリハット、事例集を作成することで事故防止に努めている。	引き続き大きな事故に繋がらないように情報共有していく。